



Good Wood Communication!

# かけがいの森から



2011・国際森林年

## 現在の丸太の取引価格を考へる

### 製造原価を大きく割れている丸太価格

材価の低迷と言われて久しいが、今やそれが当たり前となつて「低迷」を声高に言う人も少なくなつた。ある人は、「低迷ではない。国際価格化したのだ。」とも言つ。いずれにしても私たち森林所有者側からすると、今の丸太価格は「安い」。需要が旺盛にもかかわらず「安い」。

先日、立木を買取させていた

だく所有者さんのところに契約に行つたが、「六十年手を掛けてきたものが金額ではこれだけかあ・・・。とても再造林は難しいね。」という話になった。買取らせていただく側からしても、六十年間の価値を考えると、もっと高く買いつらせていただきたかつた。だが、売上と伐出費を計算してみると精一杯の金額提示だつた。



最近の市場取引価格(県森連 天竜営業所)

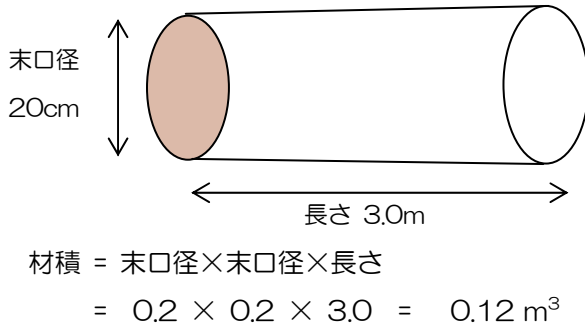
	末口径・長さ	1m <sup>3</sup> 単価	1本単価
スギ柱目(4寸)	Φ16~18cm・3m	¥10,000	¥900
スギ中目	Φ20~22cm・4m	¥12,000	¥2,100
ヒノキ柱目(4寸)	Φ16~18cm・3m	¥18,000	¥1,600
ヒノキ中目	Φ20~22cm・4m	¥20,000	¥3,500

上写真、トラック1車が約10m<sup>3</sup>なので、1m<sup>3</sup>単価の10倍がトラック1車の金額となる。丸太に曲りや傷がある場合、2~3割程度安くなってしまふ。

ふつう、業として成り立つためには、製造コスト分と利益分の収益が必要である。しかし、トラック一車市場に持つて行って十万円そこそこでは、伐り出し賃すらまならない。これでは先人の植林の苦労、長年の育林コスト、木が重ねてきた長い年月、そして、そこに立ち育つことで果してきた多くの公益的機能は報われない。  
丸太の製造コストは、山からの伐り出し賃ではなく、それを含み、植えて育ててきた分も考慮しなくてはならない。

しかしながら、私たちは、現状でできる範囲で精一杯の努力はしなければならぬ。施業の集約化、作業の効率化により出材コスト縮減には取り組まなければならぬし、そのうえで、山で長年育ててきたものを、極力世に出して活かすことを考えたい。  
価格形成は様々な要因によつてなされるため、難しい部分はあるが、森林の将来のため、適正な価格になることを強く望む。

《末口二乗法の丸太材積計算例》



現在は公的の間伐補助制度があるため、搬出作業がある程度進むが、これがなくなれば供給は大幅減になるだろう。外材の値上がり、公共建築物木造化法などにより、行政は「山側はもっと安定供給を！」を口癖にしているが、採算に合わないものを積極的に伐り出すのは難しい。

## 近年の丸太取扱量は増加中 ~間伐材扱い増加~

近年の掛川森組の素材取扱量は46期566m<sup>3</sup>、47期619m<sup>3</sup>、48期1097m<sup>3</sup>、49期839m<sup>3</sup>、そして今期50期4726m<sup>3</sup>と増加傾向にあります。これには造成地などからの搬出分も含まれますが、間伐事業の中からの搬出量が増えていることはたしかです。私たちの扱った丸太がどこかに木のぬくもりを届けています。



## いたけ栽培工程 ひとつおり ~鷲巣・橋山~

鷲・山です。ブログでもお伝えしましたが、入社して1年目、原木しいたけ栽培の工程を初めて体験しました。年末にナラの木を現場から調達、2月には幹に菌を打ち、山に入れて積んで仮伏せ。そして梅雨前に木を起こして組み立てる本伏せを行いました。自分で作った素材は、一層美味しく感じられるものです。ニョキッと出た椎茸を収穫し、料理するのがとても楽しみです。また、ほだ木からは市販のものには無い大きさ・形の個性的なものが出てくるようです。こちらもまた楽しみです。



## ヒノキの植栽作業から思う



春先、ヒノキの植栽作業を行った。就職二年目の橋山君も作業を担当。大ベテランの須和部さん

に指導されながら植えていく。小さな種から圃場で三年生まで育てられ、コモに巻かれて山行きに。この苗木が育林作業を経て大樹となり、再びここで収穫されるまでのかなりの年月を要するでしょう?。いまの材木情勢では少なくとも植えた橋山君が収穫、伐採することは無いでしょう。きっとその次の世代ですね。





## 森林組合からのお知らせ

●**通常総会** 今年は「生涯学習センター」で第 50 回の通常総会が開催されます。組合員の皆様は、お誘いあわせのうえ、ご出席ください。

と き：平成 23 年 8 月 30 日（火） 9 時より受付  
ところ：掛川生涯学習センター 2 階 第 4 会議室

### ●目立て講習会開催

4 月 16 日にチェーンソー目立て講習会が開催されました。今回も講義・ビデオ講習のあと、実際に目立てをして試し切り。参加者の皆さんは、目立て後の

切れ味の違いに驚いていたようでした。



### ●今年度の事業予定をお知らせします。

#### ・境界明確化事業（西之谷地区・黒俣地区）

西之谷地区と黒俣地区で 120ha 実施予定です。

・**治山事業** 西之谷川流域において 3 年目を迎える間伐の事業です。秋以降に県から発注予定です

・**森の力再生事業** 上西郷・丹間・大和田で約 30ha、その後に炭焼地区、千羽地区ほかで 50ha 程度を予定しています。



事業実施にあたり皆様のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 森林経営計画制度がはじまります

平成 24 年度より国の森林・林業再生プランに基づいて、「森林経営計画制度」がはじまります。この制度は森林経営・森林施業に対する意欲・能力のあるものが、ある一定規模（40～50ha 位といわれている）の森林をとりまとめて、造林、下刈、搬出間伐などの施業の計画を立て、それを行政が認定し、着実に実行したのに対して補助金を交付する仕組みです。詳細については、明らかにし次第皆様にお知らせしていきますのでよろしくお願い致します。

### 「金原明善生家」 浜松市東区安間町

明治・大正時代、天竜川の植林、治山治水に多大に貢献された金原明善。3 月に改修されたばかりの生家を見学した。場所は浜松市東区の旧東海道沿い。いくつかの庄屋を束ねる



「庄屋代官」であった金原は、私財を投じて堤防の築造、上流部への植林により、天竜川流域の治水、産業発展に努めた。「木を植ゆるは徳を植ゆるなり」の言葉は有名で、今の天竜林業の礎となっている。



### 「天然肉専門店 天龍 片桐」 浜松市天竜区二俣町

昨今鳥獣による農作物被害が増えているが、今回猪、鹿を独自開発のくくりわなで生け捕りにし、食肉処理業許可を得て、おいしい天然肉を提供している片桐さんを訪ねた。血液が肉にまわること、余熱で肉がいたむ事を防ぐため、必ず生け捕りにして山から下ろすという。「駆除したものを食べるのではなく、食べるために命をいただく。」と片桐さん。生け捕り時の猪、鹿との格闘の話、山・獣・食・天竜川への熱い思いに惹きつけられました。

### 「浜松市導入の「木質ペレット工場」 浜松市龍山町



龍山町に稼働している、木質資源を無駄なく活用するための「木質ペレット」工場を見学した。質の良くない丸太や製材の端材を「おが粉」にし、固めてペレットにする。製品はストーブやボイラーの燃料となる。

生産技術はほぼ確立されているものの、課題はとにかく価格だという。

¥3,000/t の原料受入価格は山からの搬出・運搬コストに合わず、

端材活用の程度にとどまる。また製品価格 ¥30,000/t は発生カ

ロリー、ボイラー初期投資を含めて今はまだ大きな優位性がない。森林資源を無駄なく活用するための大切な技術と思われるだけに、今後の課題克服に期待したい。



### 「天竜材仮設住宅」 天竜木材産地協同組合

木の香りが少しでも被災者のストレスを和らげることができると、と開発されたこの仮設住宅。簡便な施工性も特徴という。震災の被災地では、

岩手県の遠野市、住田町に実際に建設中とのこと。

東海地震への備えとしての考えもあるようだ。



先日、天竜川流域の林業・木材産業関係の視察研修に参加しました。この流域の林業の歴史は古く、深い。また、最近の木材産業の裾野は広い。大きな業界のうちほんの一部ですが、研修の一端を報告します。

天竜川流域の視察記  
～山林協会中遠支部研修に参加して～

## “これいい！” 購買担当「藍ちゃん」の オススメGOODS!!

ポイズンリムーバー ¥3,150 -

ハチに刺された！ マムシに食われた！

そんな緊急事態の強い味方。傷口から直接毒液を吸い出すことができる、夏の山仕事の必須アイテムです。



明善が事業を行なうにあたって信条にしていた言葉だということでした。後世に残る大仕事を成し遂げた方が、心に留め置いていたこれらの言葉。品格とエネルギーを感じました。ふと目をやった玄関の樹と木が映す光景と相まって心身が浄化された一瞬でした。



### 明善生家 「明善翁の三綱領」

金原明善の生家を見学した際、床の間の明善翁三綱領なる額に目を留めました。

- 一、実を先にして名を後にす
- 一、行を先にして言を後にす
- 一、事業を重んじて身を軽んず

### 組合員さまへのお願い

相続等で所有山林に移動（相続・取得・売却）が生じた際は森林組合へご一報ください。組合員名簿および出資証券の名義変更が必要です。

● **ひとこと** なんか、今回の紙面は固いなあ・・・  
そんなときに助けてくれるのが、子供たち。かな。たしか前にもこんな風に登場してもらったなあ。職員の子供たちもあっという間に大きくなりました。萩間で生まれた尾崎家の長男も幼稚園の年中。もうパワーショベルに乗れるようになりました！

